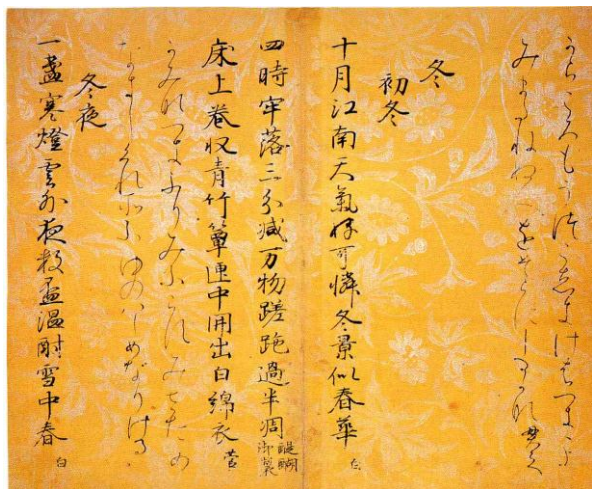
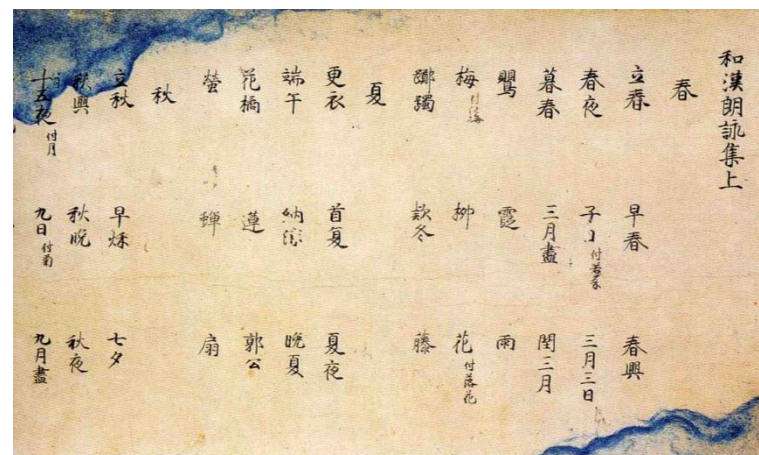
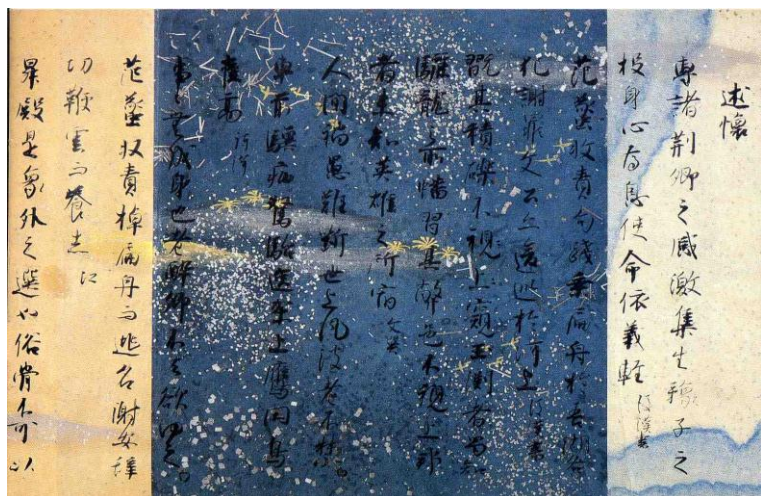




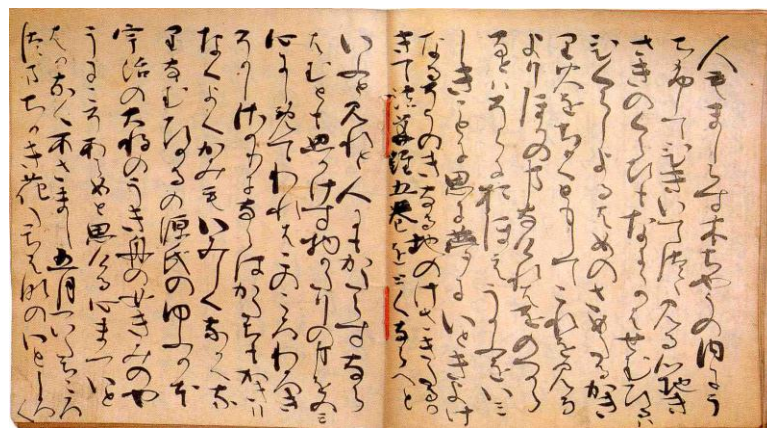
伝藤原行成「粘葉本和漢朗詠集」2帖
平安時代(11世紀)
明治11年近衛家献上



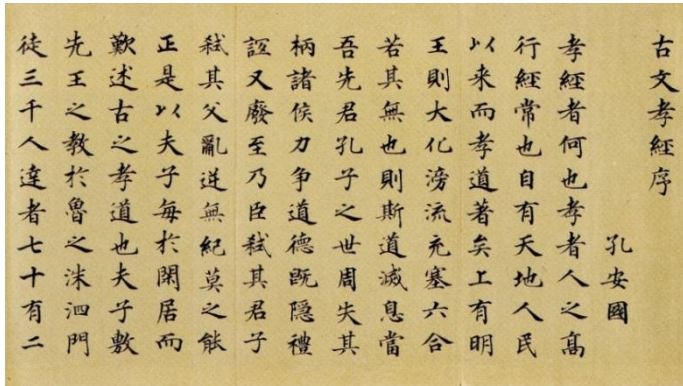
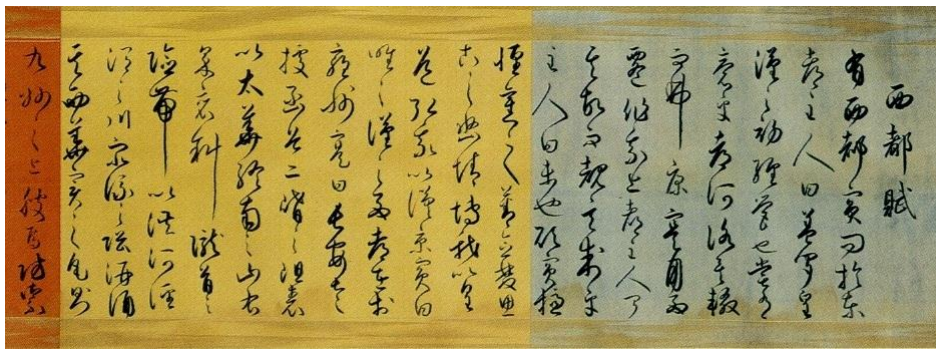
伝藤原行成「雲紙本和漢朗詠集」2卷
平安時代(11世紀) 御在来品



伝源俊頼「安宅切本和漢朗詠集」1卷
平安時代(12世紀) 明治11年近衛家献上

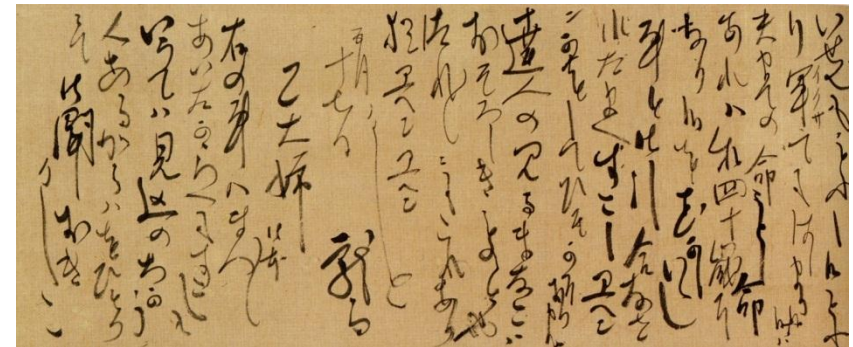
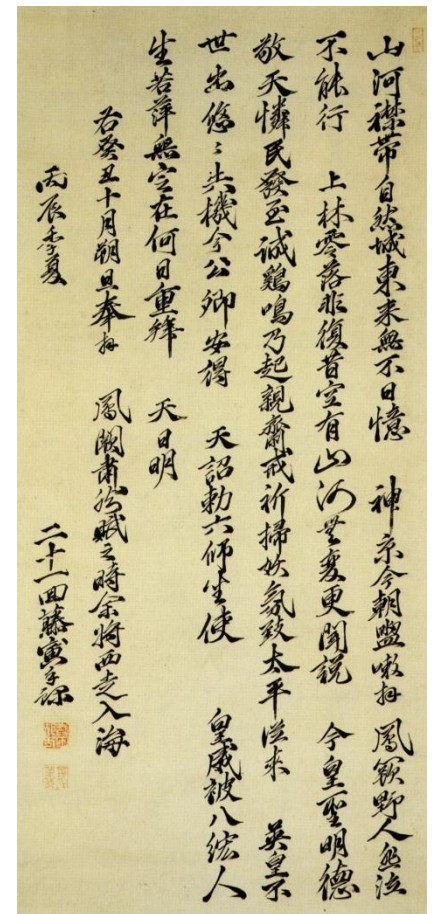


藤原定家「更級日記」1冊
鎌倉時代、13世紀 御在来品



近衛家熙(1667～1736)の作品群
上:「西東両都賦(文選)」
下:「古文孝経」

田中光顕献上の志士遺墨作品群
上:吉田松陰「拝闕詩」
下:坂本龍馬「乙大姉宛書状」



○彫刻・工芸分野



石川光明「古代鷹狩」
明治33年(1900)
1900年パリ万博宮内省御下命
帝室技芸員

山崎朝雲
「萬歳樂置物」
昭和3年(1928)
帝室技芸員



旭玉山「官女置物」 明治34年(1901)
日本美術協会美術展覧会出品作

高村光雲「松樹鷹置物」
大正13年(1924) 御下命制作
帝室技芸員



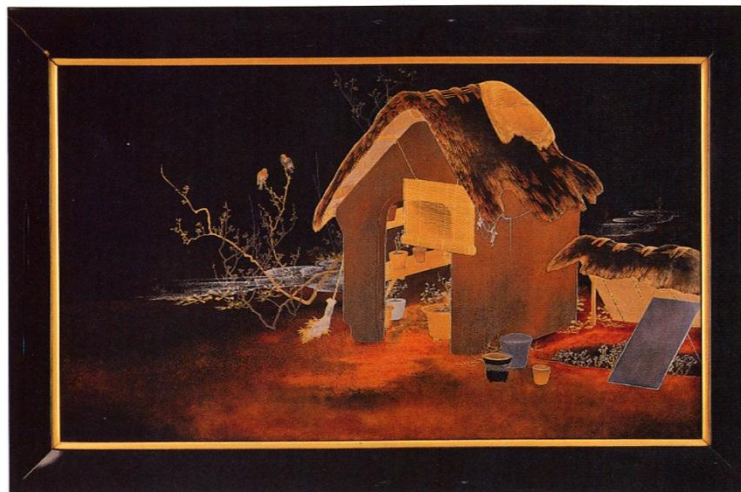


「木画箱」 中国・唐時代(7～8世紀)
法隆寺献納宝物



「蔦細道蒔絵文台・硯箱(御在来)」
安土桃山～江戸時代初期(16～17世紀)

「菊花散蒔絵十種香道具」
江戸時代(18世紀) 御在来



柴田是真「温室盆栽蒔絵額」 明治10年(1877)
第1回内国勸業博覧会〔龍紋賞牌〕 帝室技芸員



並河靖之「舞楽図花活」
明治10年(1877)
第1回内国勸業博覧会出品作
帝室技芸員



宮川香山「青華氷梅文花瓶」 明治27年(1894)
春季日本美術協会美術展覧会〔二等賞銀牌〕
帝室技芸員



三代清風與平「旭彩山桜図花瓶」 明治38年(1905)
第37回日本美術協会美術展覧会〔三等賞銅牌〕
帝室技芸員



明治天皇御下命三大作のうち

上：香川勝廣ほか
「花唐草透彫水晶入短刀拵」
明治37年(1904)

下：川之邊一朝、海野勝珉ほか
「菊蒔絵螺鈿飾棚」
明治36年(1903)





海野勝珉「太平楽置物」
明治32年(1899) 帝室技芸員
1900年パリ万博出品のため宮内省下命



並河靖之「四季花鳥図花瓶」
明治32年(1899) 帝室技芸員
1900年パリ万博出品のため宮内省下命



川之邊一朝「石山寺蒔絵文台・硯箱」 明治32年(1899) 帝室技芸員
1900年パリ万博出品のため宮内省下命





海野勝珉「蘭陵王置物」明治23年 帝室技芸員
第3回内国勸業博覧会〔一等妙技賞〕 明治宮殿鳳凰の間装飾品



12代沈寿官「菊貼付香炉」
明治26年(1893)
明治宮殿南溜の間装飾品



七宝会社「七宝藍地花鳥図花瓶」
明治22年(1889)
明治宮殿千種の間装飾品



12代西村總左衛門
「天鷲絨友禪嵐ノ図」 明治36年(1903)
第5回内国勸業博覧会出品作〔二等賞〕



川島甚兵衛「綴錦百花百鳥之図壁掛」 明治39年(1906)
リエージュ万国博覧会出品作
霞ヶ関離宮、紅葉山撮影所の装飾品
(焼失の2枚は明治宮殿東溜の間の装飾品)

大正13年皇太子(昭和天皇)御成婚につき、文武官一同よりの献上
東京美術学校依頼製作(昭和3年完成)



ボンボニエール



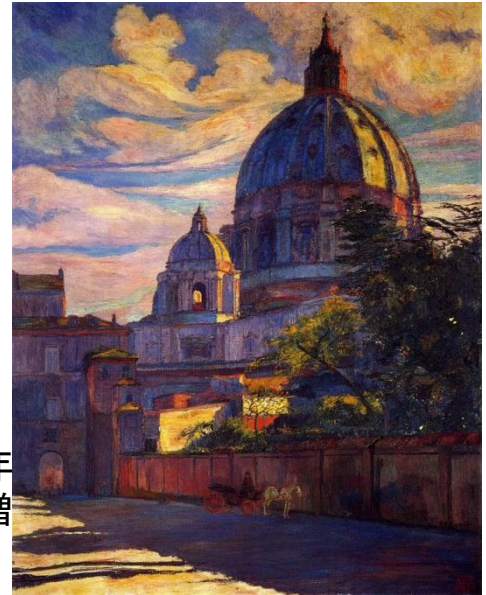
幹山伝七「色絵四季草花図食器」 594点
有栖川宮家伝来 明治10年代



外国の作品



「紫天鵲絨地花文刺繍卓被」
明治23年、トルコ皇帝より



フランソワ・パイク
「ローマ聖ピエトロ大聖堂」1921年
大正13年白耳義国作家寄贈
絵画展覧会にて買上



エートヴァルト・ハルト(デザイン)
オレフォッシュ・ガラス工場
「ガラス蓋付壺」1923年頃
大正13年の皇太子御成婚
の折、スウェーデン国王より



セーヴル国立製陶所
「白磁植物文花瓶」1930年
昭和5年、高松宮両殿下御訪
欧の折、フランス国より

○写真



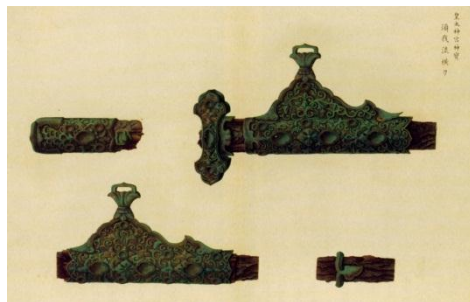
明治12年明治天皇御下命「人物写真帖」 39冊



○歴史史料



藤島常興「日本歴代古金銀貨幣模造鑑」一式
明治22年(1889) 作者からの買上



大蔵省印刷局「国華余芳」5冊 明治14年(1881) 献上

○考古



「金銅製四環壺」1点
飛鳥～奈良時代
(7～8世紀)
大正12年 買上

○その他



「珊瑚樹鉢植置物」1点
明治36年(1903)
第5回内国勸業博覧会